

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：緑の地球クラブ

22A-17

代表者：代表 吉田輝子

URL : <http://midorinochikyukurabu.wordpress.com>

1. 活動が必要とされた状況

春日部市内牧地区の雑木林数ヶ所を調査した結果、何処も一様に荒廃した状態だった。何とか私達で緑環境を取り戻したいと活動を始めてから17年目を迎えた。

現在2ヶ所の雑木林を持ち主から預かり、整備・保全・保護活動をしている。この活動を通し、植物とそこに生息する小動物が共生できる環境を創ることを目指している。

最近、野生生物が生息している痕跡を発見し、一部林床の低木を下刈りせずに残しロープで囲いを施した。

林業活動は危険を伴う作業が多いため、常に安全を最優先に活動している。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

毎月1回、第3土曜日を活動日にしている。但し、7～8月の盛夏時は暑さが身体に危険を及ぼすため休止。活動は6～7名の会員が、2ヶ所のフィールドの下刈り、低木の除伐や高木、古損木の伐倒、ロープワーク講習、植物観察会などを実施。

作業時には、カマ、ノコギリ、ナタ、ロープ、チルホール、刈払機、チェーンソーなどでそれぞれの作業に対応している。

結成以来初めての試みとして、高木かかり木のクレーン車による伐倒処理を実施した。



イヌシデの実



ロープを使い古損木の伐倒作業



クレーン車による伐倒作業

3. 活動の成果

林内に長期間光と風を入れ続けたことにより、草木その物の活性化を感じることができるようになった。植生の緑環境が少しずつ改善されてきているのではないかと思う。

この活動に携わることにより、植物や生物などの生態を学ぶ機会が多くあり、会員の自然に対する理解度がより深まっている。各種道具類の使用により、使い方も上達してきている。

4. 今後に残された課題

一緒に活動してくれる仲間をもっと増やしたく機会ある毎にPR活動をしているが、現状は難しい。